

災害シミュレーション体験
(クロスロード・避難所運営ゲーム等)



体験ポイント

自分ごととして防災対策を考える上で、イメージトレーニングを行うことは、とても重要です。

一般的には、発生時に自分だったらどうするのかという点を考える「クロスロードゲーム」が良く、グループに分かれて実施します。概ね30分程度の時間が必要です。

クロスロードは、防災講話の中で織り交ぜながら、簡略化した形で実施することも可能です。

避難所運営ゲーム(HUG)は、学校(避難拠点)の図面を基に、避難者の状況や支援状況等を考えるゲームです。避難拠点運営連絡会をはじめとした区民防災組織の方々には適した訓練です。

HUGは、30～60分程度の時間が必要です。

子ども向けには、防災紙芝居や防災クイズもあります。